

平成27年度 三条市理科部 活動報告

顧問 高橋 誠一郎
部長 石原 淳一

1 研究主題

小学校と中学校のつながりを考えた理科の授業力の向上

2 研究の概要

小中一貫教育の視点から、中学校の教科書での内容の扱われ方を意識した小学校理科における指導という実践課題に応えるために、研究に取り組んだ。

- (1) 期日 6月25日(木) 14:45～16:15
- (2) 会場 三条市立一ノ木戸小学校 ふれあいホール
- (3) 参加者 三条市小学校教育研究会 理科部員 22名
- (4) 活動名 「中学校の教科書を読む会」

教科書会社の方を招き、小中一貫教育の視点から、小中学校の教科書を比較し合い、内容の系統性や留意点を学ぶ

- (5) 講師 学校図書株式会社 第二編集部 中学校理科 小出 雅文 様



3 研究の実践

研修会では、中学校の教科書編集担当の方に、小中一貫教育という視点から、小学校理科と中学校理科のつながりについて説明していただいた。日頃、手にしたり目を通したりする機会の少ない中学校の教科書を、一人一冊ずつ実際に手にして読み合うことができた。



その中で、「電流」や「物の燃え方」といった小中学校で特につなぐ深い単位について特に詳しく留意点等を説明していただいた。また、中学校での観察・実験のために、小学校段階で確実に身に付けさせたい「スケッチ」や「回路の操作」といった観察・実験の操作の内容についても分かりやすく教えていただいた。中学校の教科書での扱われ方を念頭に置いて小学校教師が授業をすることが、学力の向上につながっていることが認識できる有意義な内容であった。



4 成果と課題

小中一貫教育推進に積極的に携わる三条市に勤務するものとして、まずもって、中学校の教科書研究を理科部小学校教員全員が行うことができたことが成果である。実際に、中学校の教科書を目にしたり、中学校の指導内容を直接的に考えたりする機会は少ない。研修として取り組むことで、指導内容の系統性についての考えが確かに広がった。

学校に戻り、それぞれの中学校区で、指導方法などの情報交換を進めていくことが今後は期待される。研修に基づいた実践に関わる部分を部員同士で円滑に共有していくことが今後の課題である。